

# 数値化方式

## 人事評価記録書(医師・医師級)例

評価期間 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

被評価者 所属: 職名: 氏名:

期末面談 平成 年 月 日

1次評価者 所属・職名: 氏名: 1次評価記入日: 平成 年 月 日  
 2次評価者 所属・職名: 氏名: 2次評価記入日: 平成 年 月 日  
 確認者 所属・職名: 氏名: 確認日: 平成 年 月 日

( I 能力評価 ) ※ 部分が標準配点の行動。

評価項目及び行動/着眼点		配点	自己申告 点数 (コメント:必要に応じ)	1次評価者 (所見)	点数	2次評価者 点数
<b>&lt;倫理&gt;</b> 医師としての責任を自覚しつつ業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。						
服務規律	イ) 下記のいずれにも該当しない場合。	8				
	ロ) 医師としての自覚に欠く行為又は職場の士気を低下させるような服務規律に反する行為が複数回ある。	4				
	ハ) ロの事項について、改善されない。	0				
<b>&lt;知識・技術・診療&gt;</b> 医学的知識・技術に基づき、適切な診療を行う。						
診療	イ) 高度な医学的知識・技術及び経験に基づき、困難な症例についての確な診療を行っている。	9				
	ロ) 業務の遂行に必要となる知識・技術に基づき、的確な診療を行っている。	7				
	ハ) 業務知識・技術の不足により、的確な診療に軽度の支障をきたしている。	5				
	ニ) ハの事項について、改善されない。	3				
専門知識・技術	イ) 自助努力により知識や技術を向上させ、業務上発揮している。	7				
	ロ) 知識や技術の向上について積極的ではない。	5				
	ハ) ロの事項について、改善されない。	3				
<b>&lt;協調性&gt;</b> 上司・同僚等と協力的な関係を構築することができる。						
説明・応対	イ) 親切、適切な応対や十分な説明により、苦情、トラブルを招くことがない。	7				
	ロ) 不適切な応対又は説明不足により、苦情やトラブルを招いている事実が複数回ある。	5				
	ハ) ロの事項について、改善されない。	3				
チームワーク	イ) 自らの担当業務を超えて、他部署等の業務に対し、自ら進んで支援し組織全体の業務遂行に取り組んでいる。	8				
	ロ) 上司・同僚や他部署等の担当者として協力的な関係を構築し、全体の業務遂行に支障を来すことがない。	7				
	ハ) 業務遂行の過程で全体の業務遂行に支障をきたす非協力的な行為が複数回ある。	5				
	ニ) ハの事項について、改善の努力を行わない。	3				
<b>&lt;患者等への説明・指導&gt;</b> 患者やその家族等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとり、説明・指導を行うことができる。						
説明・指導	イ) 患者等に対し、適切なインフォームドコンセントを行っている。	7				
	ロ) 患者等に対し、説明不足により適切なインフォームドコンセントを行っていない。	5				
	ハ) ロの事項について、改善の努力を行わない。	3				
患者等への応対	イ) 患者等に対し、親切、適切な応対を行い、円滑なコミュニケーションを行う。	7				
	ロ) 患者等に対し、不適切な応対により、苦情やトラブルを招いている事実が複数回ある。	5				
	ハ) ロの事項について、改善されない。	3				

**【合計点数等】**

1次評価者		2次評価者	
(所見)	(合計点数)	(所見)	(合計点数)

評価期間	平成	年	月	日	～	平成	年	月	日
------	----	---	---	---	---	----	---	---	---

期首面談	平成	年	月	日
期末面談	平成	年	月	日

被評価者	所属:	職名:	氏名:
------	-----	-----	-----

1次評価者	所属・職名:	氏名:	1次評価記入日:	平成	年	月	日
2次評価者	所属・職名:	氏名:	2次評価記入日:	平成	年	月	日
確認者	所属・職名:	氏名:	確認日:	平成	年	月	日

(Ⅱ 業績評価)

【1 目標】

番号	業務内容	目標 (いつまでに、何を、どの水準まで)	レベル	ウエイト	自己申告 (達成状況、状況変化その他の特筆すべき事情)	1次評価者			2次評価者			
						(所見)	達成度	評価	点数	達成度	評価	点数
1	円滑な診察(外来)の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>患者に対して、病状・治療方針を適切に説明し、患者の家族も含めて相互の信頼関係を築いたうえで、患者の意思を尊重した医療行為を行う。</li> <li>看護師等スタッフと毎日ミーティングを行い、重要な案件がある場合は、診療科内での情報共有を進め、早急に対応方針を決定する。</li> <li>問診やカルテの記入方法の工夫やデータベース化等により効率的な診察を行う。</li> </ul>	B	40%	<ul style="list-style-type: none"> <li>患者に病状・治療方針を適切に説明しており、患者の意思を尊重した医療行為が行えた。</li> <li>ミーティングや打ち合わせを毎日行うことで、重要事例の早期把握と迅速な対応が行えた。</li> <li>カルテ等の記載方法の工夫やデータベース化を進めることで、効率的な診察が行うことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>患者に適切な説明が行えており、患者の意思を尊重した医療行為ができていた。</li> <li>ミーティング等を毎日行い、重要事例への迅速な対応が出来ていた。</li> <li>カルテ等の記載方法の工夫やデータベース化を進めて、効率的な診察が行えていた。</li> </ul>	T3	50	20.0	T3	50	20.0
2	入院患者への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>入院患者の病状を的確に把握するため、自ら回診を行うだけでなく、研修医、看護師に適切に指示するとともに、毎日ミーティングを行うことで情報を共有し、適宜・適切な治療を行う。</li> <li>週△回、〇〇科との症例のカンファレンスを行い、重要事例に対して迅速に対応方針を検討する。</li> </ul>	B	30%	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミーティング等を通じて、研修医や看護師とも情報共有を進め、適切な治療を行った。</li> <li>〇〇科との合同カンファレンスは、調整がつかず、実施されない週もあったものの、定期的実施することにより、重要事例の早期把握と迅速な対応が行えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当直の際に、無断で外出したり、欠勤して、連絡が取れなくなることが複数回あり、入院患者やその家族から指摘されて、別の医師に急遽対応してもらったことが何度かあった。</li> <li>〇〇科との合同カンファレンスを定期的に行っており、重要事例への対応が概ね出来ていた。</li> </ul>	T4	30	9.0	T4	30	9.0
3	医療技術の向上 ・業務改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>□□について事例を取りまとめ、事例研究会で発表することで、医師間の情報共有に努める。</li> <li>医療用具の誤使用を防ぐために、〇月までに使用手順をマニュアル化する。</li> <li>受持患者の電子カルテを他科と相互に共有し、かつ、病院で使用している〇〇マニュアルや△△マニュアル等の必要なマニュアルを掲載した共有インフラを〇月までに完成させる。</li> <li>昨年度〇件発生した針刺し事故について、看護師と連携して、針刺し事故防止のためのルールを△月までに設ける。</li> </ul>	B	30%	<ul style="list-style-type: none"> <li>□□についての事例を取りまとめ、院内の事例発表会でも説明を行ったことに加え、地域の医療従事者間で勉強会を開催して情報提供を行うなど、地域医療の向上に取り組めた。</li> <li>医療用具の誤使用を防ぐための研究を進め、△月に使用手順のマニュアル化を行うとともに、保守管理用のチェックリストを作成して活用を図った。</li> <li>〇月に共有インフラシステムが開設されたことにより、電子カルテや各種マニュアルの共有に役立っている。さらに、薬剤情報等もリアルタイムで確認できるよう、業者と調整し、システムを整備した。</li> <li>針刺し事故防止のため、看護師との意見交換を実施。新たに注射器の取扱いルールや作業前点検事項について、△月に定め、院内へ情報提供を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□□についての事例を取りまとめて院内の事例発表会で説明を行ったほか、地域の医療従事者に説明を行い、医師間の情報共有を行った。</li> <li>医療用具の使用マニュアル及び保守管理用のチェックリストを作成し、医療用具等の適正使用を進めた。</li> <li>〇月に共有インフラシステムを開設したほか、薬剤情報もリアルタイムで確認できるようになるなど、院内の必要な情報を見ることができている。</li> <li>針刺し事故防止のための取組は、看護師と連携しながら計画的に遂行し、一定のルールを確立できた。</li> </ul>	T2	65	19.5	T2	65	19.5
4	※上記の記述はあくまで例示です。											

被評価者	所属:	職名:	氏名:
------	-----	-----	-----

【2 目標以外の業務への取組状況等】

番号	業務内容	レベル	ウエイト	自己申告 (目標以外の取組事項、突発事態への対応等)	1次評価者			2次評価者			
					(所見)	達成度	評価 点数	達成度	評価 点数		
							0	0		0	0
							0	0		0	0
							0	0		0	0

【3 合計点数等】

1次評価者		2次評価者	
(所見)	(合計点数)	(所見)	(合計点数)

総括表	1次評価	2次評価	合計
能力評価			
業績評価			